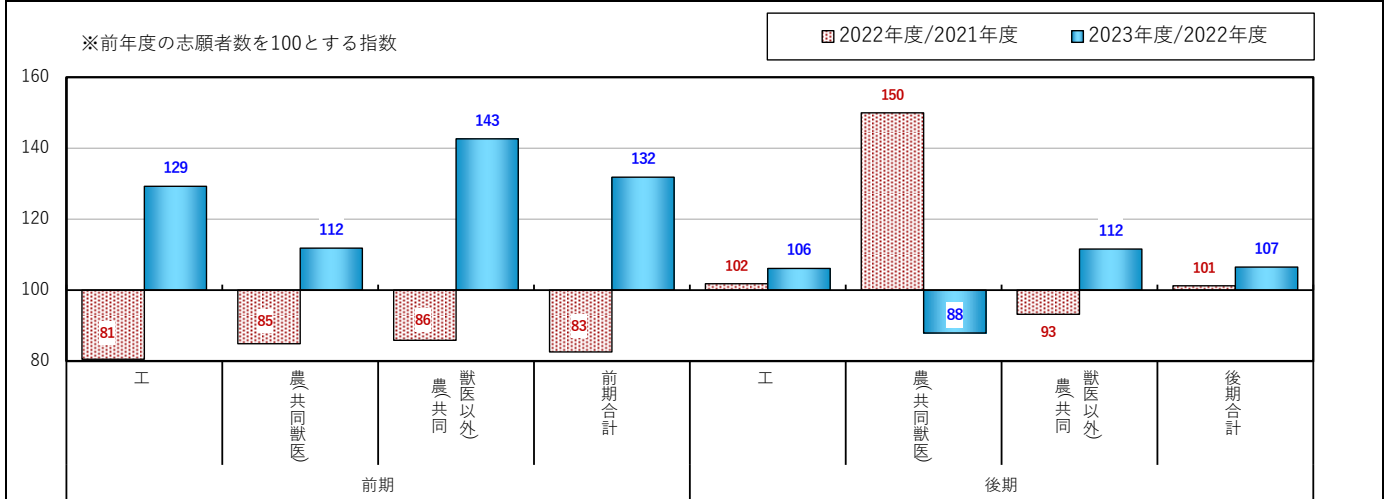


東京農工大：系統への高い人気および共通平均点アップで志願者数増加 前期：+393人 後期：+129人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、工、農・水産系への高い人気および共通テストの平均点アップが積極的な志願状況に影響。前期は前年度大幅減少の反動で393人(132)の大幅増加。後期も129人(107)のやや増加で3年連続増加、志願者数は2018年度入試以来5年ぶりに2,000人を上回った。

<前期日程>

- 工(129)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、6学科中5学科が大幅増加。(化学物理工)(194)は激増で前年度の反動による極端な増減が継続、(知能情報システム工)(137)は系統への高い人気もあり大幅増加、(生命工)(125)、(応用化)(125)はいずれも前年度大幅減少の反動で20%以上の大幅増加。一方で、(機械システム工)(98)は微減だが2年連続減少。
- 農(共同獣医)(112)**は、増加。2018年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 農(共同獣医以外)(143)**は、系統への高い人気に加えて共通テストの平均点アップの影響と前年度減少の反動で大幅増加。2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、4学科全てが大幅増加。(生物生産)(204)は倍増以上、(応用生物科学)(134)、(地域生態システム)(130)、(環境資源科学)(115)は大幅増加でいずれも前年度と逆の増減。

<後期日程>

- 工(106)**は、やや増加で4年連続増加、志願者数は8年ぶりに1,500人を上回った。学科別では、6学科中増減が3学科ずつ。(化学物理工)(141)は大幅増加で3年連続増加、(生命工)(134)は前年度減少の反動で大幅増加。一方で、(生体医用システム工)(86)は2019年度の学科改組以降で初めての減少、(機械システム工)(88)は2年連続減少。
- 農(共同獣医)(88)**は、減少。志願者数は4年連続100人を下回った。
- 農(共同獣医以外)(112)**は、増加。学科別では4学科のいずれも前年度と逆の増減。(地域生態システム)(135)、(生物生産)(127)は大幅増加、(応用生物科学)(112)は増加。一方で、(環境資源科学)(77)は大幅減少。